



アドビシステムズ社、 Flex 3 のパブリックベータ版を公開

より迅速な RIA 開発を実現する新機能を搭載するとともに
オープンソース化に向けた本格的な活動を開始

【2007 年 6 月 12 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2007 年 6 月 11 日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE、本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、リッチインターネットアプリケーション（RIA）構築のための、クロスプラットフォームに対応した無償のオープンソースによるフレームワーク Adobe® Flex™ 3 のパブリックベータ版を公開しました。Adobe Flex 3 には、新しいユーザインターフェイス機能が加わったほか、デベロッパーの生産性の向上や、Flex アプリケーションのデスクトップへの展開、およびエンタープライズにおけるテストや性能を最大化させるツール群が強化されています。また、Adobe Flex 3 パブリックベータ版は、Flex のオープンソース化プロジェクトの最初の成果でもあり、Adobe Flex 3 パブリックベータ版は日々更新され、バグ情報のデータベースも同時に公開されます。

デベロッパーは Adobe Flex 3 を活用することにより、コードネームで“Apollo”と呼ばれていた Adobe® Integrated Runtime（AIR）を使用して RIA の機能をブラウザからデスクトップへと拡大することができます（本日発表の別リリースをご覧ください）。新しい Adobe Flex Builder™ 3 と Adobe AIR™ を活用すれば、ブラウザとデスクトップの両方で実行可能な、より魅力的で優れたパフォーマンスを実現するアプリケーションの開発が可能になります。

アドビシステムズ社のシニアバイスプレジデント兼チーフソフトウェアアーキテクトのケビンリンチ（Kevin Lynch）は、「Web では RIA 革命が進行しており、Flex は最も表現力豊かで最も迅速な開発を可能とするフレームワークとしてその最先端にあります。アプリケーションをデスクトップにも展開し、また Flex のコードをオープンソースで利用できるようになったことにより、Flex デベロッパーにとってまさに最高の開発環境が手に入る時代となりました」と述べています。

Adobe Flex 3 によってデベロッパーは、Flex コンパイラ、コンポーネント、およびアプリケーションフレームワークのソースコードを無償でダウンロード、拡張し、また開発したコードの提供が可能になります。Adobe Flex 3 のスクリプト言語は、JavaScript の標準規格である ECMAScript 4 の最先端の実装であり、最近 Mozilla 財団に提供されたオープンソースの ActionScript virtual Machine（tamarin プロジェクト）を使用して Adobe Flash® Player 上で実行されます。また、Adobe Flex 3 パブリックベータ版とともに、詳細な仕様を含む Flex 3 のロードマップ、日々更新されるビルド、そしてデベロッパーが問題点を記録、追跡、および機能リクエストを行うことができる公開バグデータベースを提供するプロジェクトを開始します。

Adobe Flex 3 には、アドビシステムズ社のデザインツールである Adobe Creative Suite® 3（CS3）を使って制作したコンテンツ資産を、直接 Flex に読み込むことを可能にした CS3

との強力な統合など、デザイナーとデベロッパーのワークフローを改善する大きな変更が加えられました。また、視覚的なスキニングとスタイリングのサポート、CSS の言語インテリジェンスに対する完全なサポート、デベロッパーが複雑なアプリケーション設計やレイアウト編集を可能にする Flex Builder 3 デザインビューが提供されます。

開発環境に関して、Adobe Flex 3 にはデベロッパーの生産性を強化するさまざまなコードの改良が施されています。例えば、Adobe Flex Builder 3 はリファクタリングに対応し、デベロッパーはプロジェクト内で大きな変更を迅速に、かつ一貫して実行することが可能になりました。また、Adobe Flex 3 に実装されたメモリとパフォーマンスのプロファイリングにより、ブラウザ内または Adobe AIR 上で実行されるアプリケーションの内部動作を検証することができます。さらに、クラスのアウトライン表示とコード検索機能を使えば、大規模な開発プロジェクトであっても変数やメソッド、プロパティを簡単に検索することが可能です。

Scrapblog 社の共同創設者兼 CEO であるカルロス ガルシア (Carlos Garcia) 氏は、「魅力的なアプリケーションを提供、展開するにあたって、当社は常に生産性を高める方法を模索しています。Adobe Flex 3 に、当社が日常的に使用する Creative Suite 3 製品とのスムーズな連携をはじめとする、新たなデザイン機能やインタラクティブ機能が加わることで、表現力豊かな RIA をいち早く市場に投入することができます。そして、Adobe AIR によって、アプリケーションの適用範囲をデスクトップにまで拡大できるようになったため、将来的な RIA の開発に Adobe Flex 3 以外の技術を使うことは考えられません」と述べています。

アドビ システムズ社は、デベロッパーが開発した Flex および Adobe AIR アプリケーションを公開できる場として、「Adobe AIR Developer Derby」を開催します。アドビ システムズ社は、Flex と HTML 両方のアプリケーションのカテゴリーを含め、5 つのカテゴリーで賞を設けるとともに、最も画期的なアプリケーションには最優秀作品賞も用意しています。受賞者は、2007 年 9 月 30 日から 10 月 2 日までシカゴで開催される Adobe MAX カンファレンスで発表され、受賞作品はアドビ システムズ社の Web サイトでも公開されます。Adobe AIR Developer Derby の詳細については <http://www.adobe.com/go/airderby> をご覧ください。

Adobe Flex Builder 3 と Adobe Flex 3 SDK のパブリックベータ版は、Adobe Labs (<http://labs.adobe.com/technologies/flex>) から無償でダウンロードできます。このパブリックベータは英語版で、Windows® と Macintosh® の両方のバージョンが用意されています。アドビ システムズ社は Adobe Flex SDK の日々更新されるビルドと、日本語のユーザーインターフェイスを備えたバグデータベースを <http://labs.adobe.com/technologies/flex/opensource> で公開します。Mozilla Public License に基づいたオープンソース版 Flex は、2007 年後半を予定している Adobe Flex 3 の製品版提供時期に提供される予定です。また、Flex Builder 3 の価格は製品版提供開始時期に発表される予定です。Adobe Flex についての詳細は <http://www.adobe.com/jp/flex> をご覧ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。